

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成28年1月28日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <http://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 山田 義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長
氏名 大上 高 充

TEL (075) 344-7070

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	614,013	△0.0	44,170	△29.9	44,689	△31.8	33,869	△31.3
27年3月期第3四半期	614,269	11.2	62,997	30.3	65,546	41.2	49,301	45.2

(注) 四半期包括利益 28年3月期第3四半期 24,533 百万円(△69.7%) 27年3月期第3四半期 81,067 百万円(23.2%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第3四半期	156	34	156	34
27年3月期第3四半期	224	59	224	59

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	683,612	494,034	491,577	71.9
27年3月期	711,011	492,094	489,769	68.9

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円	銭	円	銭	円	銭				
27年3月期	-	-	31	00	-	-	40	00	71	00
28年3月期	-	-	34	00	-	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	34	00	68	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

詳細は、本日(平成28年1月28日)公表いたしました「平成28年3月期 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	835,000	△1.4	62,000	△28.4	65,500	△25.0	47,500	△23.6	219	92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

連結業績予想の修正については、本日(平成28年1月28日)公表いたしました「平成28年3月期 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：・無
 新規 1社（社名）Adept Technology, Inc. 除外 1社（社名）
 （注）詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期3Q	217,397,872株	27年3月期	217,397,872株
28年3月期3Q	3,588,387株	27年3月期	144,467株
28年3月期3Q	216,638,556株	27年3月期3Q	219,518,539株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 当社は、平成28年1月28日（木）に投資家向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

（注）事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）
 E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス（電子部品事業）
 A E C : オートモティブ&エレクトロニックコンポーネントビジネス（車載事業）
 S S B : ソリューションシステム・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）
 H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）
 その他 : 環境事業本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、バックライト事業など（本社直轄事業）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
(重要な後発事象)	P. 13
4. 補足情報	P. 14
(1) 連結業績概要	P. 14
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 15
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均レート予想	P. 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第 3 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月～12 月）における当社グループの業績は、前年同期比で売上高は横ばいとなり、営業利益は減少しました。売上高については、I A B（制御機器事業）、EMC（電子部品事業）、A E C（車載事業）、H C B（ヘルスケア事業）が増加したものの、その他事業（本社直轄事業）が低調に推移したことにより、前年同期比で横ばいとなりました。営業利益については、その他事業（本社直轄事業）が低調に推移したことと成長のための投資を拡大したことなどにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

当第 3 四半期連結累計期間の経済環境認識は以下のとおりです。

<各地域の経済・市場概況>

- 日本： 設備投資や雇用情勢のゆるやかな回復が継続
- 米州： 米国では雇用・所得環境の改善により個人消費や企業活動が拡大し堅調
- 欧州： ゆるやかな回復が継続
- 中華圏： 固定資産投資の伸び率低下などにより中国経済は一段と減速
- アジア： 韓国の景気は回復傾向にあるものの、タイ、インドネシア等は不透明感が継続

<当社グループの主な関連市場の状況>

- 自動車関連： 国内の部品需要は軽自動車の販売減により低調、米国では堅調
- 半導体関連： スマートフォンなどの需要が減少し、設備投資需要は軟調に推移
- 工作機械関連： 国内・海外の設備投資需要は減少
- 家電・電子部品関連： 設備投資需要は堅調、部品需要は中国で軟調に推移
- 健康医療機器関連： ロシア及び東欧は景気低迷により低調、その他新興国は堅調

当第 3 四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
売上高	6,142 億 69 百万円	6,140 億 13 百万円	△0.0%
営業利益	629 億 97 百万円	441 億 70 百万円	△29.9%
税引前四半期純利益	655 億 46 百万円	446 億 89 百万円	△31.8%
当社株主に帰属する 四半期純利益	493 億 1 百万円	338 億 69 百万円	△31.3%
米ドル平均レート	107.2 円	121.5 円	+14.3 円
ユーロ平均レート	140.5 円	133.5 円	△7.0 円

セグメント別の状況

I A B (制御機器事業)

		平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	929 億 20 百万円	953 億 78 百万円	+2.6%
	海外	1,516 億 85 百万円	1,562 億 8 百万円	+3.0%
	合計	2,446 億 5 百万円	2,515 億 86 百万円	+2.9%
営業利益		402 億 87 百万円	367 億 59 百万円	△8.8%

<国内売上高の状況>

自動車や電子部品関連業界などでの設備投資需要が堅調に推移し、当期間の国内売上高は前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

米州では主に石油関連事業の需要が減少し、低調に推移しました。欧州では緩やかな回復傾向のもと、需要は堅調に推移しました。中華圏では景気低迷の影響により、総じて需要は低調に推移しました。アジアではASEANをはじめとする新興国での市況減速や通貨安の影響により需要は低調に推移したものの、韓国では電子部品関連業界の需要が堅調に推移しました。これらの結果に為替の影響が加わり、当期間の海外売上高は前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高は増加しましたが、成長のための投資の拡大などにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	177 億 53 百万円	177 億 80 百万円	+0.2%
	海外	578 億 57 百万円	609 億 38 百万円	+5.3%
	合計	756 億 10 百万円	787 億 18 百万円	+4.1%
営業利益		70 億 20 百万円	65 億 65 百万円	△6.5%

<国内売上高の状況>

自動車関連業界では軽自動車の増税影響により需要は低調に推移しました。業務民生業界では需要は好調に推移しました。これらの結果、当期間の国内売上高は前年同期比で横ばいとなりました。

<海外売上高の状況>

米州では自動車関連業界の需要が好調に推移しました。欧州では業務民生業界の需要が堅調に推移しました。一方、中華圏では景気の減速により、業務民生業界や自動車関連業界の需要が低調に推移しました。これらの結果に為替の影響が加わり、当期間の海外売上高は前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高は増加しましたが、生産性向上のための投資増加などにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

A E C (車載事業)

		平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	187 億 69 百万円	155 億 65 百万円	△17.1%
	海外	821 億 56 百万円	884 億 33 百万円	+7.6%
	合計	1,009 億 25 百万円	1,039 億 98 百万円	+3.0%
営業利益		70 億 54 百万円	52 億 41 百万円	△25.7%

<国内売上高の状況>

軽自動車の増税影響を受けた自動車販売台数の減少などにより、当期間の国内売上高は前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州では好調な米国経済を背景に需要が大幅に拡大しました。中華圏では顧客の在庫調整により需要が減少しました。これらの結果に為替の影響が加わり、当期間の海外売上高は前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

国内売上高の減少や研究開発費の増加などにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

S S B (社会システム事業)

		平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		479 億 85 百万円	448 億 65 百万円	△6.5%
営業利益 (△損失)		△9 億 64 百万円	△26 億 62 百万円	—

<駅務システム事業の売上高の状況>

駅務機器に対する設備の更新需要が堅調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

<交通管理・道路管理システム事業の売上高の状況>

高速道路事業者の安心安全に関連する需要が堅調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

<環境ソリューション事業の売上高の状況>

太陽光発電関連市場の需要が低調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の減少などにより、営業利益は前年同期比で損失額が増加しました。

HCB (ヘルスケア事業)

		平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	232 億 69 百万円	230 億 47 百万円	△1.0%
	海外	502 億 18 百万円	579 億 81 百万円	+15.5%
	合計	734 億 87 百万円	810 億 28 百万円	+10.3%
営業利益		58 億 43 百万円	63 億 26 百万円	+8.3%

<国内売上高の状況>

家庭向け健康医療機器については、都市部での海外観光客向け商品の需要が堅調に推移しました。医療機関向け機器については、医療機関での設備投資減少により需要は低迷しました。これらの結果、当期間の国内売上高は前年同期比で横ばいとなりました。

<海外売上高の状況>

欧州ではロシアおよび周辺国での景気低迷が継続し需要は低調に推移しました。中国では景気低迷は見られるものの、販売施策などの効果もあり堅調に推移しました。米州では血圧計が、また中南米ではネブライザの需要が好調に推移しました。インドを始めとするアジア圏の新興国では、健康意識の高まりが継続し需要は好調に推移しました。これらの結果に為替の影響も加わり、当期間の海外売上高は前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加により、営業利益は前年同期比で増加しました。

その他事業 (本社直轄事業)

		平成 27 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		677 億 78 百万円	501 億 9 百万円	△26.1%
営業利益 (△損失)		83 億 54 百万円	△19 億 6 百万円	—

その他事業では、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄で行っています。

<環境事業の売上高の状況>

太陽光発電関連市場の需要が低調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置、産業用組み込みコンピュータおよび電子機器の開発・生産受託サービスの需要が好調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

<マイクロデバイス事業の売上高の状況>

スマートフォン向けマイクロフォンの需要の増加により、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

<バックライト事業の売上高の状況>

中華圏のスマートフォン市場での需要が減少し、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の減少などにより、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、現金及び現金同等物の減少などにより 273 億 99 百万円減少して、6,836 億 12 百万円となりました。また、負債の部は支払手形及び買掛金・未払金などの減少により、前連結会計年度末に比べ 293 億 39 百万円減少して、1,895 億 78 百万円となりました。純資産の部は自己株式の取得やその他の包括利益累計額の変動などにより減少したものの、当社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ 19 億 40 百万円増加し、4,940 億 34 百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の 68.9%から 71.9%となりました。

当第 3 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収などにより、476 億 35 百万円の収入（前年同期比 50 億 9 百万円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備等への投資実行やモーションコントローラーの開発・生産・販売会社や米国の産業用ロボットメーカーの買収など積極的な投資を実行し、580 億 57 百万円の支出（前年同期比 301 億 83 百万円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや自己株式の取得などにより、315 億 83 百万円の支出（前年同期比 27 億 12 百万円の支出増）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 3 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 440 億 31 百万円減少し、585 億 91 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第 3 四半期連結累計期間と同様に第 4 四半期もその他事業（本社直轄事業）が低調に推移すると予想しております。さらに、中国経済の悪化が各事業に悪影響を与えるものと想定しております。このような環境認識に基づき通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

なお、第 4 四半期の業績予想の前提としている為替レートは、1 米ドル 117 円、1 ユーロ 127 円です。

業績予想は当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

<通期業績予想数値の修正>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想 (A)	860,000	70,000	71,000	53,500	247 円 84 銭
今回修正予想 (B)	835,000	62,000	65,500	47,500	219 円 92 銭
増減額 (B - A)	△25,000	△8,000	△5,500	△6,000	—
増減率 (%)	△2.9%	△11.4%	△7.7%	△11.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	847,252	86,591	87,388	62,170	283 円 89 銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

Adept Technology, Inc. が新たに特定子会社となっております。

なお、当該異動は、当社の米国子会社を通じた株式公開買付けおよびその後の当該米国子会社との略式合併により子会社となり、当該子会社の資本金の額が当社の資本金の額の 100 分の 10 以上に相当し、特定子会社に該当するためです。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	434,096	61.1	378,364	55.3
現金及び現金同等物	102,622		58,591	
受取手形及び売掛金	178,775		155,557	
貸倒引当金	△ 1,624		△ 1,628	
たな卸資産	116,020		128,435	
繰延税金	19,941		19,395	
その他の流動資産	18,362		18,014	
有形固定資産	151,452	21.3	150,950	22.1
土地	26,721		26,884	
建物及び構築物	147,120		150,480	
機械その他	202,149		207,698	
建設仮勘定	6,619		6,900	
減価償却累計額	△ 231,157		△ 241,012	
投資その他の資産	125,463	17.6	154,298	22.6
のれん	8,776		32,380	
関連会社に対する 投資及び貸付金	24,318		25,804	
投資有価証券	57,106		54,543	
施設借用保証金	6,971		6,845	
繰延税金	6,366		8,059	
その他の資産	21,926		26,667	
資 産 合 計	711,011	100.0	683,612	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流 動 負 債	176,762	24.9	146,009	21.4
支払手形及び買掛金・未払金	92,702		80,066	
未 払 費 用	41,942		33,562	
未 払 税 金	3,680		2,509	
そ の 他 の 流 動 負 債	38,438		29,872	
繰 延 税 金	697	0.1	2,815	0.4
退 職 給 付 引 当 金	30,393	4.3	30,353	4.4
そ の 他 の 固 定 負 債	11,065	1.5	10,401	1.5
負債の部合計	218,917	30.8	189,578	27.7
(純資産の部)				
株 主 資 本	489,769	68.9	491,577	71.9
資 本 金	64,100	9.0	64,100	9.4
資 本 剰 余 金	99,070	13.9	99,101	14.5
利 益 準 備 金	13,403	1.9	15,200	2.2
そ の 他 の 剰 余 金	301,174	42.4	325,860	47.7
その他の包括利益(△損失)累計額	12,489	1.8	2,804	0.4
為 替 換 算 調 整 額	26,313		17,063	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 36,486		△ 35,639	
売却可能有価証券未実現損益	22,478		21,305	
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益	184		75	
自 己 株 式	△ 467	△ 0.1	△ 15,488	△ 2.3
非 支 配 持 分	2,325	0.3	2,457	0.4
純資産の部合計	492,094	69.2	494,034	72.3
負債及び純資産合計	711,011	100.0	683,612	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間 〔自平成26年4月1日〕 〔至平成26年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成27年4月1日〕 〔至平成27年12月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比		
売 上 高	614,269	100.0	614,013	100.0		
売 上 原 価	370,390	60.3	376,654	61.3		
売 上 総 利 益	243,879	39.7	237,359	38.7		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	145,122	23.6	153,876	25.1		
試 験 研 究 開 発 費	35,760	5.8	39,313	6.4		
営 業 利 益	62,997	10.3	44,170	7.2		
そ の 他 収 益 - 純 額 -	△ 2,549	△ 0.4	△ 519	△ 0.1		
税 引 前 四 半 期 純 利 益	65,546	10.7	44,689	7.3		
法 人 税 等	19,664	3.2	12,513	2.0		
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	△ 3,724	△ 0.6	△ 2,084	△ 0.3		
四 半 期 純 利 益	49,606	8.1	34,260	5.6		
非 支 配 持 分 帰 属 損 益	305	0.1	391	0.1		
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	49,301	8.0	33,869	5.5		

(四半期連結包括損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
		金 額	金 額
四 半 期 純 利 益		49,606	34,260
その他の包括利益－税効果考慮後			
為 替 換 算 調 整 額		31,467	△ 9,292
退 職 年 金 債 務 調 整 額		949	847
売却可能有価証券未実現損益		△ 666	△ 1,173
デリバティブ純損益		△ 289	△ 109
その他の包括利益(△損失)計		31,461	△ 9,727
四半期包括利益		81,067	24,533
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		515	348
当社株主に帰属する四半期包括利益		80,552	24,185

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
			〔自平成26年4月1日〕	〔自平成26年12月31日〕	〔自平成27年4月1日〕	〔自平成27年12月31日〕
I 営業活動によるキャッシュ・フロー						
1. 四半期純利益			49,606		34,260	
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと四半期純利益の調整						
(1) 減価償却費		20,490		23,198		
(2) 固定資産除売却損(△益)(純額)		3,073		△ 71		
(3) 投資有価証券売却益(純額)	△	4,337		△ 1,247		
(4) 投資有価証券の減損		138		5		
(5) 退職給付引当金	△	15,502		1,299		
(6) 繰延税金		5,371		439		
(7) 持分法投資損益(△利益)	△	3,724		△ 2,084		
(8) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少		12,666		23,384		
② たな卸資産の増加	△	23,709		△ 11,373		
③ その他の資産の増加	△	2,637		△ 405		
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)		161		△ 11,408		
⑤ 未払税金の減少	△	3,169		△ 1,168		
⑥ 未払費用及びその他流動負債の増加(△減少)		2,824		△ 8,162		
(9) その他(純額)		1,375	△	6,980	968	13,375
営業活動によるキャッシュ・フロー			42,626		47,635	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却及び償還による収入		5,248		1,892		
2. 投資有価証券の取得	△	25		△ 29		
3. 資本的支出	△	25,572		△ 27,558		
4. 施設借用保証金の減少(純額)		90		85		
5. 有形固定資産の売却による収入		418		1,013		
6. 関連会社に対する投資及び貸付金の増加	△	30		△ 20		
7. 事業買収(現金取得額との純額)	△	8,003		△ 33,448		
8. その他(純額)		-		8		
投資活動によるキャッシュ・フロー			△ 27,874		△ 58,057	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の減少(純額)	△	502		-		
2. 親会社の支払配当金	△	12,985		△ 16,077		
3. 非支配株主への支払配当金	△	277		△ 216		
4. 自己株式の取得	△	15,045		△ 15,021		
5. その他(純額)	△	62		△ 269		
財務活動によるキャッシュ・フロー			△ 28,871		△ 31,583	
IV 換算レート変動の影響			7,000		△ 2,026	
現金及び現金同等物の増減額			△ 7,119		△ 44,031	
期首現金及び現金同等物残高			90,251		102,622	
四半期末現金及び現金同等物残高			83,132		58,591	
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額		145		153		
2. 法人税等の支払額		17,000		13,245		
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記						
1. 資本的支出に関連する債務		1,374		989		
2. 自己株式の消却による利益剰余金の減少		31,130		-		

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) (単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	244,605	75,610	100,925	47,985	73,487	67,778	610,390	3,879	614,269
(2) セグメント間の内部売上高	4,152	37,457	941	3,651	135	18,815	65,151	△ 65,151	—
計	248,757	113,067	101,866	51,636	73,622	86,593	675,541	△ 61,272	614,269
営業費用	208,470	106,047	94,812	52,600	67,779	78,239	607,947	△ 56,675	551,272
営業利益 (△ 損失)	40,287	7,020	7,054	△ 964	5,843	8,354	67,594	△ 4,597	62,997

当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) (単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	251,586	78,718	103,998	44,865	81,028	50,109	610,304	3,709	614,013
(2) セグメント間の内部売上高	4,068	36,190	455	3,217	174	12,415	56,519	△ 56,519	—
計	255,654	114,908	104,453	48,082	81,202	62,524	666,823	△ 52,810	614,013
営業費用	218,895	108,343	99,212	50,744	74,876	64,430	616,500	△ 46,657	569,843
営業利益 (△ 損失)	36,759	6,565	5,241	△ 2,662	6,326	△ 1,906	50,323	△ 6,153	44,170

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) (単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	248,831	88,481	78,755	137,446	60,756	614,269	—	614,269
(2) セグメント間の内部売上高	131,949	2,475	1,272	67,288	17,848	220,832	△ 220,832	—
計	380,780	90,956	80,027	204,734	78,604	835,101	△ 220,832	614,269
営業費用	343,159	89,438	76,566	187,250	71,899	768,312	△ 217,040	551,272
営業利益 (△ 損失)	37,621	1,518	3,461	17,484	6,705	66,789	△ 3,792	62,997

当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) (単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	241,170	99,726	79,674	126,850	66,593	614,013	—	614,013
(2) セグメント間の内部売上高	138,820	4,620	1,342	75,385	21,572	241,739	△ 241,739	—
計	379,990	104,346	81,016	202,235	88,165	855,752	△ 241,739	614,013
営業費用	358,696	103,742	76,593	189,102	81,501	809,634	△ 239,791	569,843
営業利益 (△ 損失)	21,294	604	4,423	13,133	6,664	46,118	△ 1,948	44,170

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	90,818	82,928	137,953	63,908	375,607
II 連結売上高					614,269
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.8	13.5	22.4	10.4	61.1

当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	101,731	83,321	127,795	69,417	382,264
II 連結売上高					614,013
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.6	13.6	20.8	11.3	62.3

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

(重要な後発事象)

当社は、平成27年10月27日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、自己株式の消却を実施しました。

[自己株式の消却]

- | | |
|--------------|---|
| 1. 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| 2. 消却する株式の数 | 3,439,700株
(消却前発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.58%) |
| 3. 消却実施日 | 平成28年1月21日 |

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第3四半期累計			通期		
		平成27年3月期 第3四半期	平成28年3月期 第3四半期	前年同期比	平成27年3月期	平成28年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	614,269	614,013	100.0%	847,252	835,000	98.6%
営業利益 (率)	百万円 (%)	62,997 (10.3%)	44,170 (7.2%)	70.1% (△3.1P)	86,591 (10.2%)	62,000 (7.4%)	71.6% (△2.8P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	65,546 (10.7%)	44,689 (7.3%)	68.2% (△3.4P)	87,388 (10.3%)	65,500 (7.8%)	75.0% (△2.5P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	49,301	33,869	68.7%	62,170	47,500	76.4%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	224円59銭	156円34銭	△68円25銭	283円89銭	219円92銭	△63円97銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	224円59銭	156円34銭	△68円25銭	283円89銭		
総資産	百万円	703,797	683,612	97.1%	711,011		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	489,198 (69.5%)	491,577 (71.9%)	100.5% (+2.4P)	489,769 (68.9%)		
1株当たり株主資本	円 銭	2,251円72銭	2,299円14銭	+47円42銭	2,254円37銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	42,626	47,635	+5,009	77,057		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△27,874	△58,057	△30,183	△39,517		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△28,871	△31,583	△2,712	△29,303		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	83,132	58,591	△24,541	102,622		

(注) 連結子会社数は172社、持分法適用関連会社数は16社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成27年3月期 第3四半期累計	平成28年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	国内	929	954	102.6%
	海外	1,517	1,562	103.0%
	計	2,446	2,516	102.9%
E M C	国内	177	178	100.2%
	海外	579	609	105.3%
	計	756	787	104.1%
A E C	国内	187	156	82.9%
	海外	822	884	107.6%
	計	1,009	1,040	103.0%
S S B	国内	475	431	90.7%
	海外	5	18	369.0%
	計	480	449	93.5%
H C B	国内	233	230	99.0%
	海外	502	580	115.5%
	計	735	810	110.3%
その他	国内	350	332	94.9%
	海外	328	169	51.5%
	計	678	501	73.9%
消去調整他	国内	36	36	100.0%
	海外	3	1	33.3%
	計	39	37	95.6%
合 計	国内	2,387	2,317	97.1%
	海外	3,756	3,823	101.8%
	(海外比率)	(61.1%)	(62.3%)	(+1.2P)
	計	6,143	6,140	100.0%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成27年3月期 第3四半期累計	平成28年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	403	368	91.2%
E M C	70	66	93.5%
A E C	71	52	74.3%
S S B	△ 10	△ 27	—
H C B	58	63	108.3%
その他	84	△ 19	—
消去調整他	△ 46	△ 61	—
合計	630	442	70.1%

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成27年3月期 第3四半期累計	平成28年3月期 第3四半期累計	前年同期比
USD	107.2	121.5	+14.3
EUR	140.5	133.5	△7.0

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

	平成27年3月期	平成28年3月期 予想	前期比
I A B	3,318	3,380	101.9%
E M C	1,039	1,040	100.1%
A E C	1,379	1,400	101.5%
S S B	804	775	96.4%
H C B	1,006	1,070	106.3%
その他	874	640	73.2%
消去調整他	53	45	86.9%
合計	8,473	8,350	98.6%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成27年3月期	平成28年3月期 予想	前期比
I A B	546	500	91.5%
E M C	102	80	78.7%
A E C	92	75	81.3%
S S B	50	32	64.1%
H C B	65	70	107.5%
その他	84	△ 45	—
消去調整他	△ 73	△ 92	—
合計	866	620	71.6%

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成27年3月期	平成28年3月期 予想	前期比
U S D	110.0	120.5	+10.5
E U R	138.7	132.0	△ 6.7

(注) 平成28年3月期の予想における第4四半期の業績予想の前提としている為替レートは1米ドル117円、1ユーロ127円です。